

モニタリングポスト周辺環境改善対策の実施について

東京電力（株）

(現 状) 森林、地表面からの影響で空間線量率が上昇（事故前の 100~10,000 倍）  
 (方向性) 測定精度向上を目的として対策を実施。  
 (対 策) 周辺の空間線量率が 10 μGy/h を目標に、樹木伐採・表土除去、遮へい壁設置を実施

1. モニタリングポスト(MP)の現状



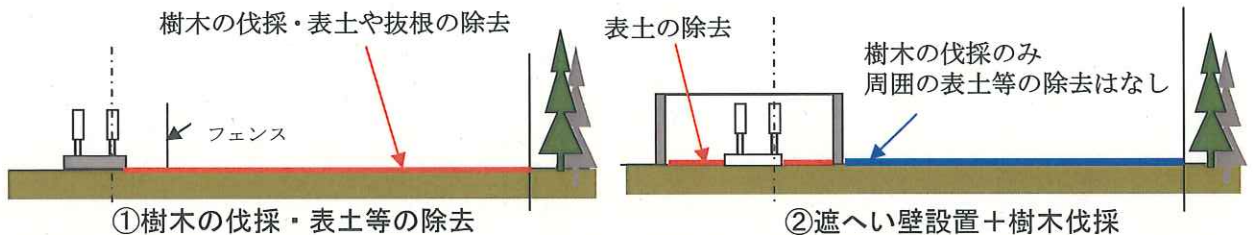
- ・MP-3~7 は周囲を森林に囲まれており、森林からの影響が大きい
- ・MP-2, 8 は地表からの影響が大きい（MP-8 は近傍の展望台斜面の影響大）

2. 環境改善目標

- ・目標：測定精度向上を目的とし、空間線量率を 10 μGy/h 以下
- (理由) 降雨により指示値は 10%程度変動する。10 μGy/h の場合、変動幅は 1 μGy/h 程度となり、これを超える変動が検知可能となる。

3. 環境改善対策

- ①周囲の空間線量率が比較的低く対策が広範囲とならない箇所は「表土等除去対策」等を実施
- ②周囲の空間線量率が比較的高く対策が広範囲となる箇所は「遮へい壁」設置等を実施



4. 工期

・工期：平成 24 年 2 月~平成 24 年 4 月 (着工：平成 24 年 2 月 10 日)

■ 表土等除去 ■ 樹木伐採 ■ 遮へい壁設置

モニタリングポスト	2月		3月		4月	
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
MP-2		■	■	■		
MP-3				■	■	■
MP-4					■	■
MP-5			■	■	■	
MP-6	■		■	■	■	
MP-7		■	■		■	
MP-8				■		■

<参考> 当社ホームページでの紹介

※発電所敷地境界の空間線量率を測定しているモニタリングポスト (MP) のうち、モニタリングポスト 2~8 につきましては、周囲の森林や地表面に蓄積された放射性物質により、周辺の放射線量が高い状況にあります。これらによる影響を低減させ、より正確な空間線量率の測定が出来るようにすることを目的に、平成 24 年 2 月 10 日~4 月末までの予定で、環境改善（森林の伐採、表土の除去、遮へい壁の設置）の工事を実施しています。

これに伴い、工事期間中は、MPの値が変動する可能性があります。

本資料には、東京電力株式会社またはその他の企業の秘密情報が含まれている可能性があります。当社の許可なく本資料を複製、改ざん、転載、漏洩、または第三者に開示、公開する行為を禁止します。  
 東京電力株式会社